

公益社団法人日本ファシリティマネジメント協会
2023年度 秋の18講座

こころとからだのウェルビーイング 研究部会

ウェルビーイング実現の鍵:現場での取り組み
(座談会)

内容

- 研究部会の紹介
- 現場の取り組み（座談会）
- 研究部会参加のお誘い

研究部会紹介

こころとからだのウェルビーイング研究部会

設立：2018年

■活動目的

ファシリティマネジメントを通じて、人々のウェルビーイング（身体的、精神的、社会的に良好な状態）の実現に貢献し、笑顔と活力の溢れる社会を実現する。

ウェルビーイングに働けるワークプレイスづくりについて研究

こころとからだのウェルビーイング

こころとからだのウェルビーイング

こころ **社会心理学的** (Morale , loyalty , Engagement, less stress)

からだ **人間工学的** (Universal Design , Humanscale, Safety)

組織と個人の**ウェルビーイング**



ワークプレイスの整備と向上

JFMAとウェルビーイング

2017年

【健康経営タスクフォース】

有識者、実践者、サービス提供者などの事例を踏まえて、新しいFMの実践法の検討、出版準備。

2019年

健康経営と ワークプレイス

働く人と経営を元気にする
ファシリティマネジメント

公益社団法人 日本ファシリティマネジメント協会

JFMA

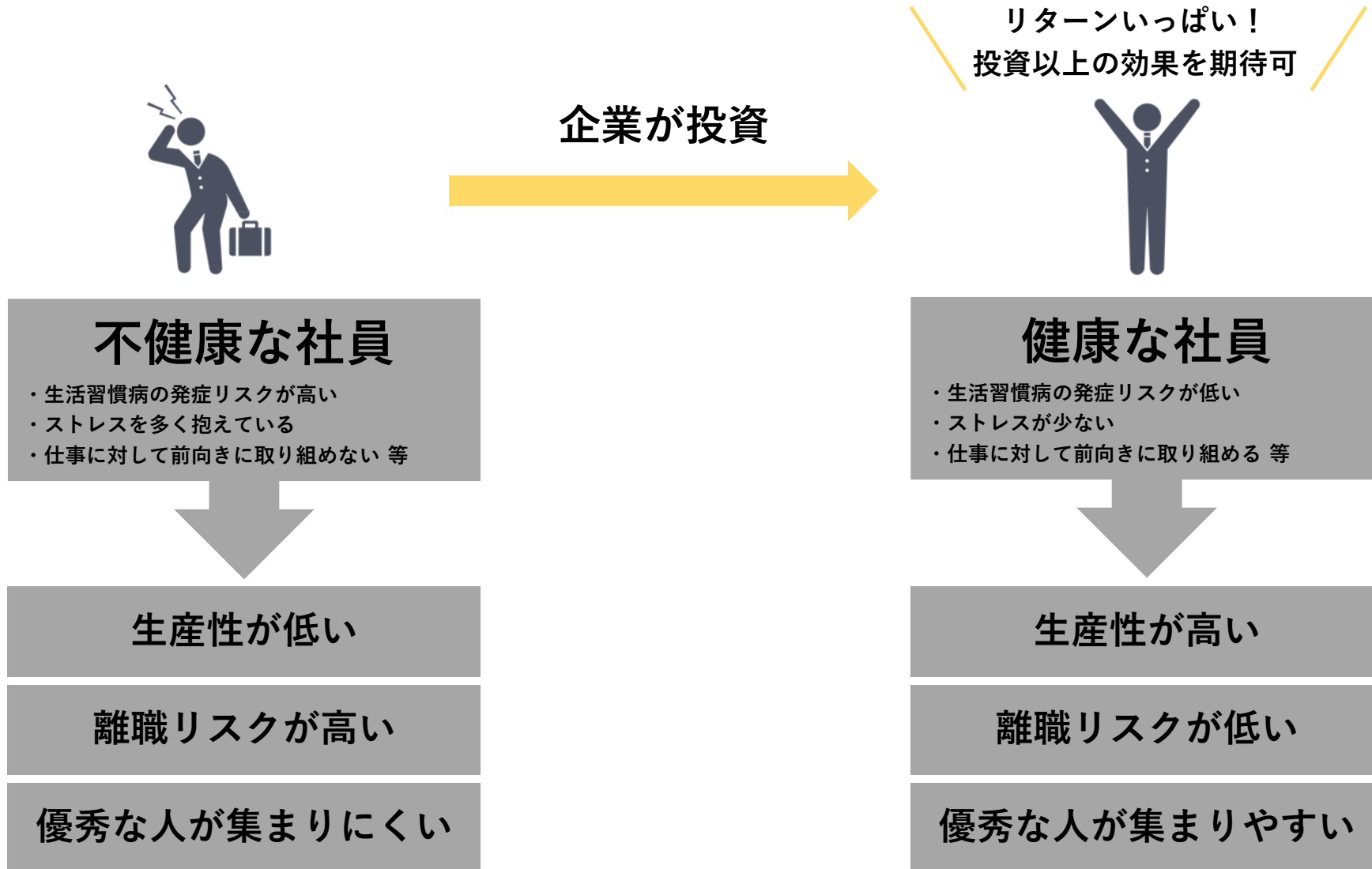


健康経営とは

企業が従業員の健康に配慮することによって、
経営面においても大きな成果が期待できるとの基盤に立って、
健康管理を経営的視点から考え、戦略的に実践すること

特定非営利活動法人 健康経営研究会HPより (<http://kenkokeiei.jp/whats>)

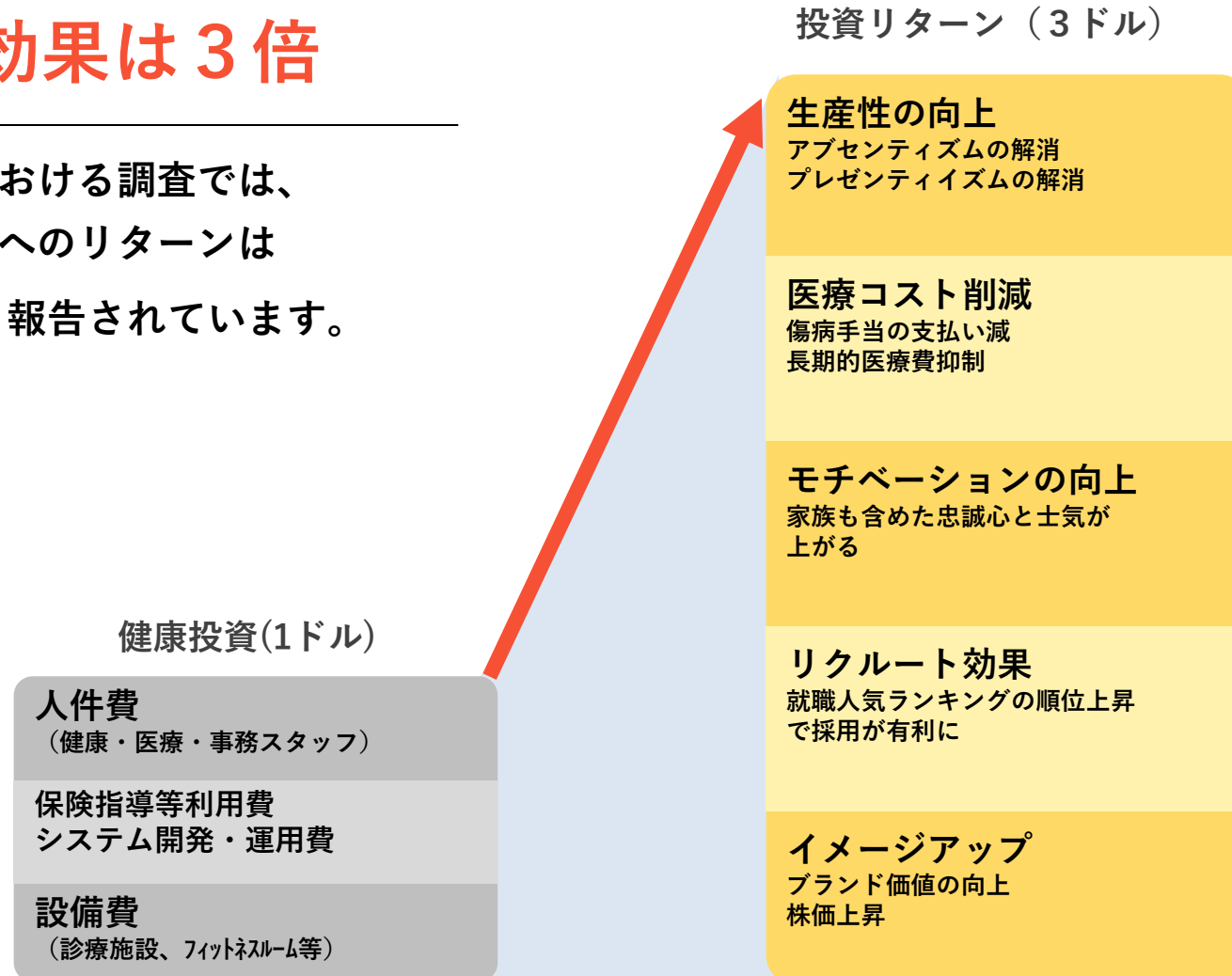
健康経営とは



健康経営の投資効果

投資効果は3倍

米企業における調査では、
健康投資へのリターンは
約3倍と報告されています。



Newsweek日本語版 (2011/3) より作成

健康経営における生産性指標

アブセンティズム

(健康問題による欠勤)

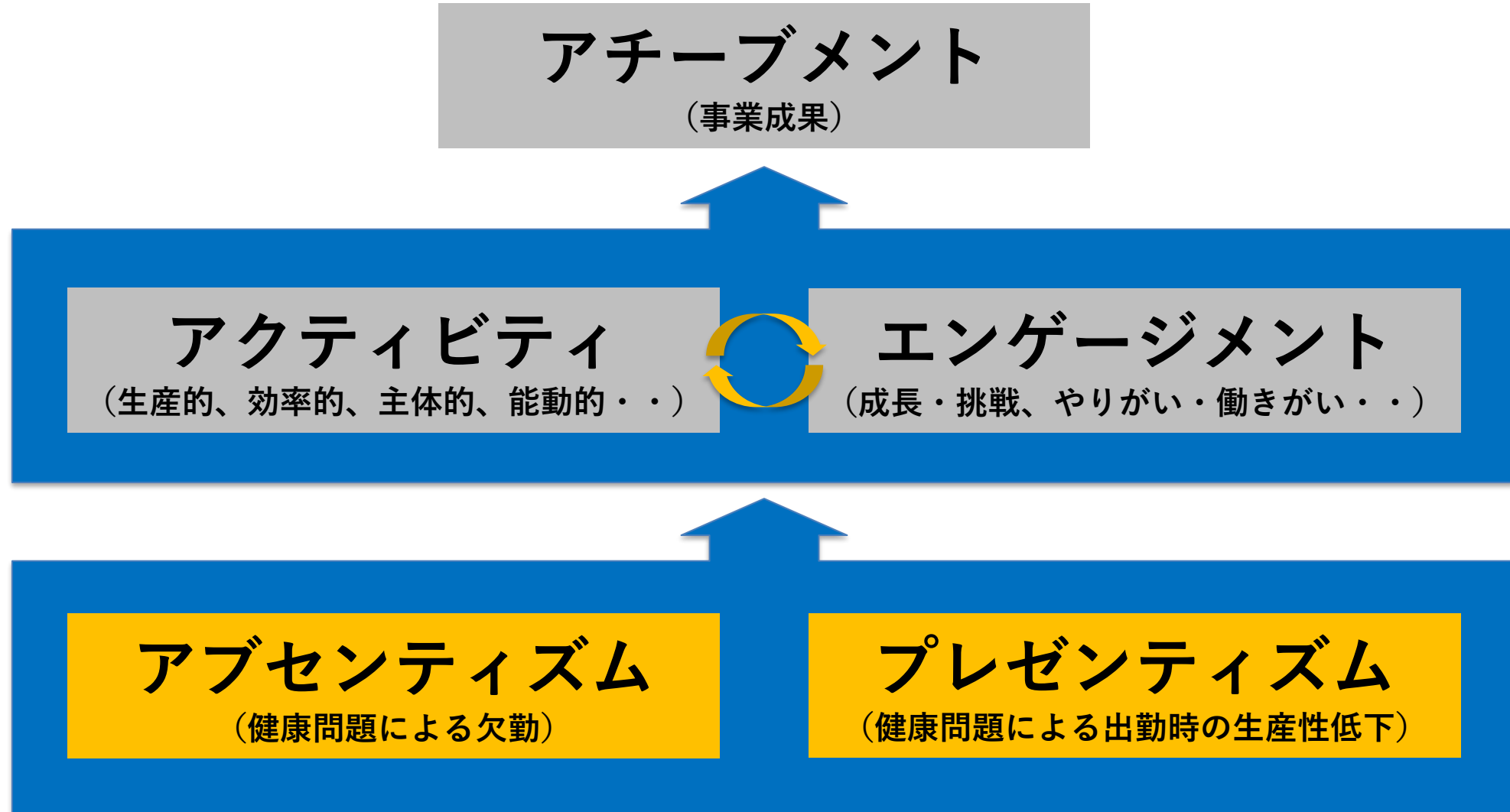
例) 風邪で仕事を休む、
うつ病で長期休職する 等

プレゼンティズム

(健康問題による出勤時の生産性低下)

例) 頭痛で仕事に集中できない
花粉症で業務が妨げられる 等

“経営的視点から考え、戦略的に実践“



座談会

改めて、「ウェルビーイング」とは？

ウェルビーイング実現の鍵：現場での取り組み

座談会

司 会

(株) 清和ビジネス

野間 (部会長)

インハウス

(株) ネルケプランニング

佐藤さん、近間さん

サービスプロバイダー

(株) 朝日ビルディング

田中さん、秦さん

ご自身の経験や研究会活動などから

自己紹介と研究会活動

「ウェルビーイング」とは？

これまでの「ウェルビーイング」と、これからの「ウェルビーイング」

これまでの「ウェルビーイング」と、これからの「ウェルビーイング」

昭和から平成にかけて

ネガティブな文脈で・・・

エコノミックアニマル・モーレツ社員・ワーカホリック・社畜

少し、ポジティブに（仕事もプライベートも全力出す!）

「24時間戦えますか?」、「5時から男」

近年

ワークライフバランス、キャリアアップ、心理的安全性、
リカレント教育、リスキリング、ピアサポート・・・

変化していくもの

変えたくないもの

これからの「ウェルビーイング」

インハウス

- 自然の要素を加えたオフィス
- 安心感を与え、会社での居心地の良さ。
- 仲間に会いたいというヒトの関係性や知識を継承していける職場
- 社員が同じ方向に向かいつつ、多様性を感じる

- ”働き方”＝場所（在宅勤務、フレックスタイムなど選べる）
- 通勤時間、移動時間に配慮した立地

サービスプロバイダー

- 働く場での幸せ≒働きやすい
- 『今より、よくすること』
- 成果が出せる
- コミュニケーションがしやすい
- 時代の変化やお客様に合わせるオフィスづくり

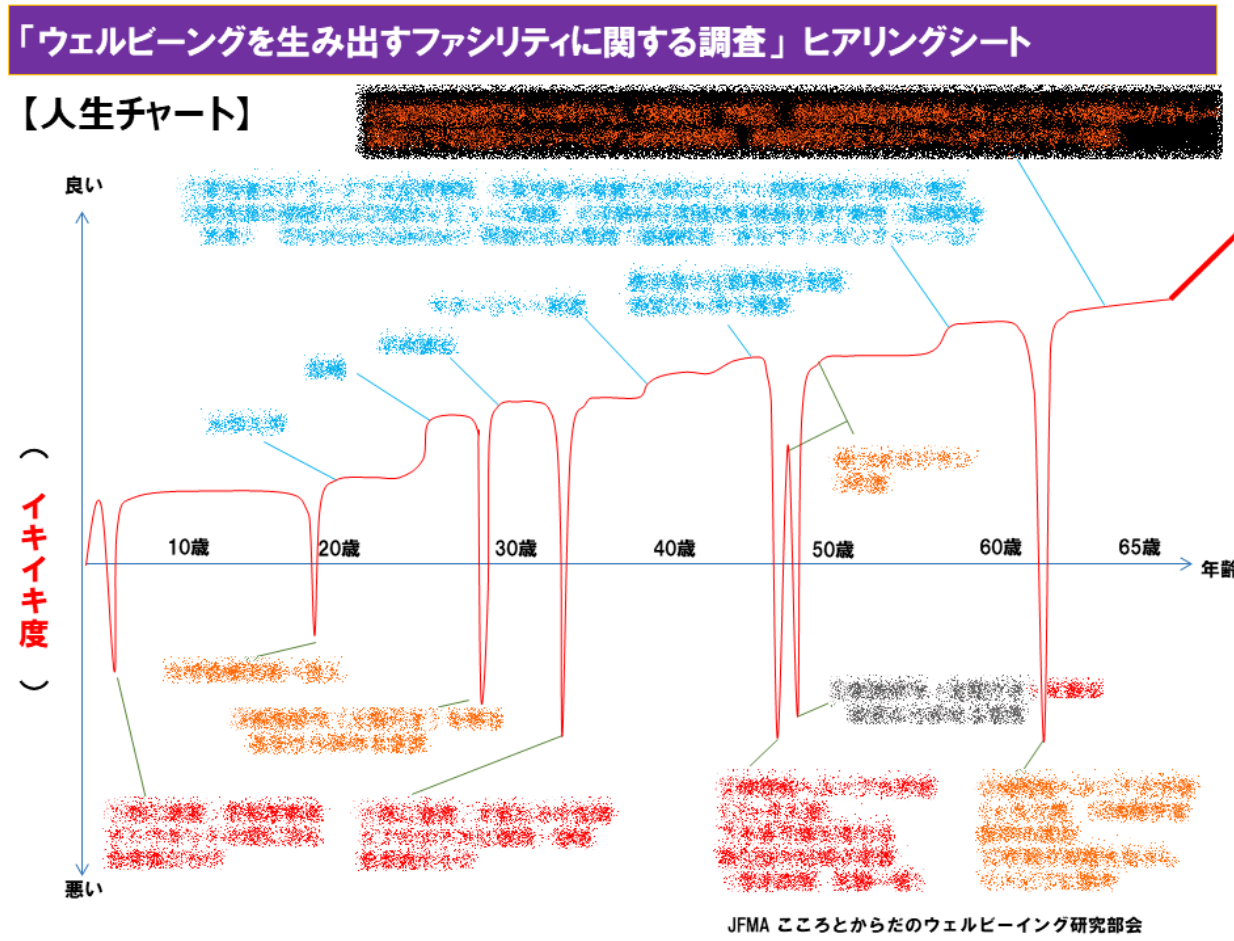
- お客さまに寄り添い”よりよい”を追求したい
- 同じ取り組みも会社によって、”よい”場合と”わるい”場合がある。

研究部会へのお誘い

2023年の取り組み

1. FM目線の『組織と個人のウェルビーイング』の再整理
2. ケーススタディの蓄積
 - 先進企業の取り組みとその後（受賞企業の今を知る）
 - 活用方法を探る（特に、社員の自主性を向上させる巻き込み方）
3. ケーススタディの情報発信
 - 施策のアイデア
 - レファレンス（教養 ▶ 知識、手法、用語、トレンド）
4. 個人のウェルビーイングに着目したFM施策（継続テーマ）

ライフチャート ▶ ポジティブ・ネガティブ要因 ▶ ファシリティ施策

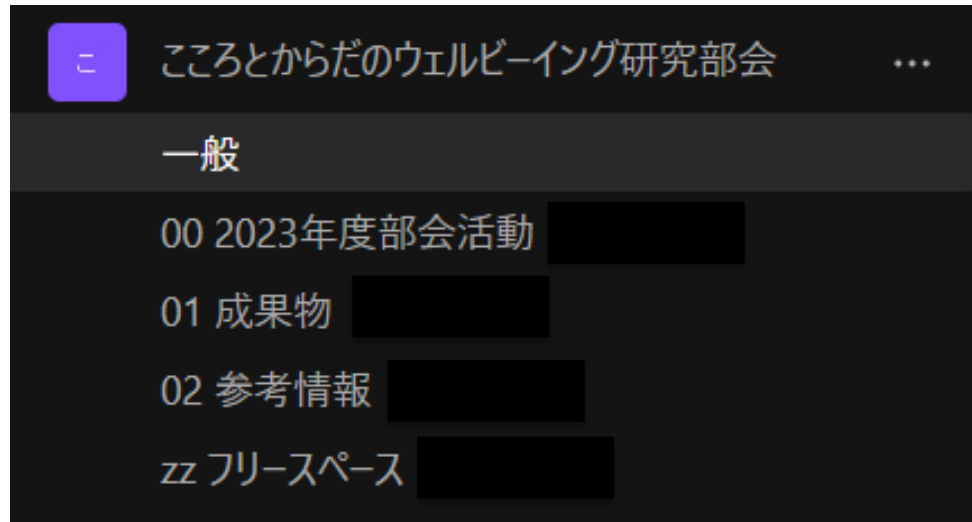


定例会とTeamsの活用

ハイブリッド形式の定例会
(18:00~20:00)

今後の予定(毎月第一水曜日)

2023年	2024年
10月04日(水)	01月17日(水)
11月01日(水)	02月07日(水)
12月06日(水)	03月06日(水)



一般

- ・ 部会員、事務局からの情報発信、意見交換

00 2023年度部会活動(期間単位の情報集約)

- ・ 研究部会の議事や議事録、中間成果物の共有や協議

01 成果物(年度ごとに整理)

- ・ 内容や体裁を整えたコンテンツ

03 参考情報

- ・ 部会員と事務局の情報発信、その他意見交換

zz フリースペース

- ・ 部会員相互交流
- ・ 部会活動とは関係ない情報収集や意見募集

参加申込、お試し参加申込

The screenshot shows the JFMA website with a navigation menu on the left and a main content area. The main content area is titled '研究部会 最新情報' (Research Department Latest Information) and features two news items. The first item, dated 2023/04/24, is about the publication of 'JFMA JOURNAL R6' and includes a thumbnail of the journal cover. The second item, dated 2022/08/23, is about a YouTube video titled 'JFMA CHANNEL 『JFMA調査研究部会ってなんだ?』公開中' (JFMA CHANNEL 'What is JFMA Research Department?' is now public) and includes a thumbnail of the video. Below the news items is a section titled '各研究部会の紹介・参加申込み' (Introduction of Research Departments and Application) with a white box containing application instructions.

研究部会 最新情報

- 2023/04/24 JFMA JOURNAL R6 (ジャフマジャーナル別冊) 調査研究部会特集号2023 発刊！
 JFMA機関誌 JFMA JOURNAL(ジャフマジャーナル) の別冊号/「JFMA JOURNAL R」シリーズの第6弾！
 【特別編『ESG/SDGsとファシリティマネジメント』】
 JFMAには18の調査研究部会があり、それぞれのテーマで活発な活動を行っています。今回、多くの部会が、ファシリティマネジメントのあり方を大きく変えようとしているサステナビリティ変革の潮流に対して、それぞれの領域におけるレポートを作成し、一冊にまとめました。本冊子は、2021年に調査研究委員会SDGsタスクフォースが中心となり取りまとめ発刊したJFMA SDGsタスクフォースレポート2021『SDGsで変わるファシリティマネジメント』（入門編）をベースにして各部会において展開したもので、各部会が一つのテーマに取り組みという初めての試みの成果でもあります。ぜひご一読いただき、皆さまのSDGsの取り組みのヒントにいただければと思います。
 ・JFMA 書籍ページにて発売中！
- 2022/08/23 YouTube「JFMA CHANNEL」『JFMA調査研究部会ってなんだ?』公開中
 ←YouTube「JFMA CHANNEL」『JFMA調査研究部会ってなんだ?』にてJFMA調査研究部会についてのご紹介をしております。ぜひこの動画も参照いただき、「秋の夜学校」で各部会の活動をご視聴ください。

各研究部会の紹介・参加申込み

- ・研究部会に参加希望の方は、下記申込フォームよりインターネットにてお申込みください。
 (研究部会への参加には「JFMA会員」資格が必要です)
- ・『参加』及び『お試し参加』申込フォーム
- ※ お試し参加 及び 正式参加申込みにつきましては、「一度に2研究部会まで」とさせていただきます。
- ※ 入力フォームから申込できない場合には、担当までご連絡ください。

マネジメント研究	FM 戦略企画研究部会
	FM プロジェクトマネジメント研究部会
	リスクマネジメント研究部会
	エネルギー環境保全マネジメント研究部会
	CRE マネジメント研究部会
施設事例研究	人と場への FM 投資価値研究部会
	こころとからだのウェルビーイング研究部会
	インフラマネジメント研究部会
	キャンパス FM 研究部会
	ヘルスケア FM 研究部会
固有技術研究	公共施設 FM 研究部会
	ユニバーサルデザイン研究部会
	運営維持手法研究部会
	品質評価手法研究部会
	FM 財務評価手法研究部会
	オフィス・ワークプレイスの知的生産性研究部会
	コンピュータ活用研究部会
	BIM・FM 研究部会

満足度・生活の質に関する調査(2019年以降:内閣府)

<https://www5.cao.go.jp/keizai2/wellbeing/manzoku/index.html>

満足度・生活の質に関する調査報告書2023 ～我が国のWell-beingの動向～ (概要)

<本報告書の背景・目的>

我が国の経済社会状況について、GDPだけでなく、満足度・生活の質に関する幅広い視点から「見える化」することが重要である。こうした観点から、主観的指標である「満足度」(生活に満足しているかを0点～10点で自己申告するもの)や、関連する生活実態(友人との交流、WLB等)の動向を把握するため「満足度・生活の質に関する調査」を2019年2月に開始した。今般、第5回調査(2023年2月実施)の調査結果を分析し、報告書を取りまとめる。

2023年7月

内閣府 政策統括官(経済社会システム担当)

満足度・生活の質に関する調査について

○約10,000人へのインターネット調査(うち約6,200人は前回調査からの継続サンプルであるパネル調査)。
○総合的な生活満足度、13分野別の満足度、分野別の質問等により、主観・客観の両面からWell-beingを多角的に把握。

13分野別満足度

家計と資産の満足度

雇用環境と賃金の満足度

住宅の満足度

仕事と生活(WLB)の満足度

健康状態の満足度

自身の教育水準・教育環境の満足度

社会とのつながりの満足度

政治・行政・裁判所の満足度

自然環境の満足度

身の回りの安全の満足度

子育てのしやすさの満足度

介護のしやすさ・されやすさの満足度

生活の楽しさ・面白さの満足度

(総合的な満足度)
生活満足度

基本属性に関する質問(例)

○性別 ○年齢 ○居住地 ○世帯構成 ○子供の年齢 等

13分野別の関連質問(例)

○各分野の満足や不満に大きく影響するものについての認識
○各分野に対する将来不安

○あなた自身の健康状態(「よい」「わるい」等の主観的な認識)
○健康状態の将来不安
○健康のために実践していること(バランスのとれた食事、適度な運動等)

○子育ての感想(「楽しい」「どちらかというと楽しい」等の主観的な認識)
○子育てを気軽にお願いできる人の有無(家族、親族、友人等)
○育休の取得状況

その他(例)

○1年間で経験したこと(結婚した、失業した等)
○最近の生活について(孤独を感じる、気分が沈み気が晴れない等)

非財務情報公表に向けた動き（経済産業省）

人的資本経営の実現に向けた検討会
報告書
～ 人材版伊藤レポート2.0～

令和4年5月
経済産業省

伊藤レポート 2.0 2017年10月

『持続的成長への競争力とインセンティブ～企業と投資家の望ましい関係構築～』プロジェクトの最終報告書の通称「伊藤レポート2.0」公開。
(一橋大学の伊藤邦雄さんが座長、初版は2014年8月公開)

人材版伊藤レポート 2.0 2022年5月

2020年9月に公表した「人材版伊藤レポート」が示した内容を深掘りするため、「人的資本経営の実現に向けた検討会」で議論を重ね、検討会報告書に実践事例集を追加する形でまとめた「人材版伊藤レポート2.0」を公開。

人材版伊藤レポート 3つの視点と5つの要素 ▶ FM領域への取り組み展開例

1. 経営戦略と人材戦略の連動
2. As is-To be ギャップの定量把握
3. 企業文化への定着

生産年齢人口減少

一人当たり労働生産性の最大化

個人の能力向上

自律した行動

組織力の強化

- ① 動的な人材ポートフォリオ
- ② 知・経験のダイバーシティ&インクルージョン
- ③ リスキル・学び直し
- ④ 従業員エンゲージメント
- ⑤ 時間や場所にとらわれない働き方

テレワーク定着

効率性と創造性が発揮できる環境の整備
(ハイブリッドワークや兼業・副業)

供給計画
見直し

オフィス機能の
再構築

コラボレーション
システム

業務支援
システム

ハードウェア面

ソフトウェア面

ウェルビーイングに関連がある認証、評価サービス

評価対象		日本	米国	英国	オーストラリア	シンガポール
個別の建築物	エネルギー性能	BELS e マーク	ENERGY STAR (建築物評価は米国のみ)	EPC (欧州各国でそれぞれ 独自に策定)	Green star	—
	総合的な環境性能	CASBEE DBJ Green Building 認証	LEED (全世界で使用可能)	BREEAM (全世界で使用可能)	NABERS	BCA Green Mark
	+健康・ 快適性等	CASBEE- ウェルネス オフィス	WELL (全世界で使用可能)	—	—	—
不動産会社・ファンド		GRESB				

<https://www.env.go.jp/earth/zeb/detail/09.html>

評価の視点	日本独自	米国
健康経営の推進	健康経営優良法人	優良健康経営表彰
働きがいの向上	働きがいのある企業ランキング	Great Place to Work

こころとからだのウェルビーイング研究部会